

# 佐久市地域おこし協力隊 活動報告書

2024年度

竹田栄次  
任用期間 2022年4月～

## 【ミッション】

中山間地域における荒廃農地発生防止のための  
仕組みづくりと農業従事

# 2024年度の主な活動

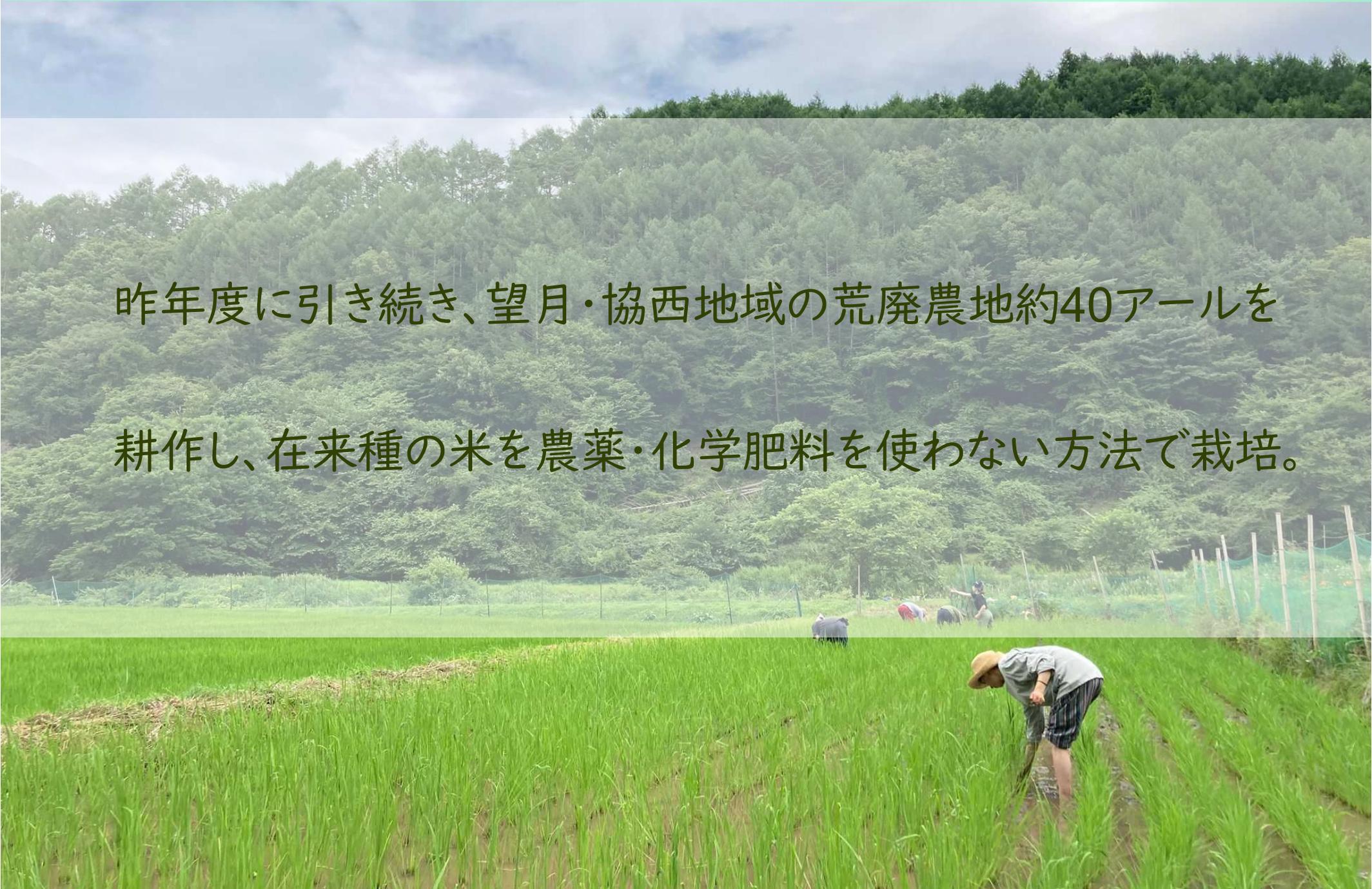
1. 米づくりを中心とした荒廃農地の活用

2. 地域活性化への取り組み

3. 新規就農のための技術習得、販路の確保

# 1. 米づくりを中心とした荒廃農地の活用

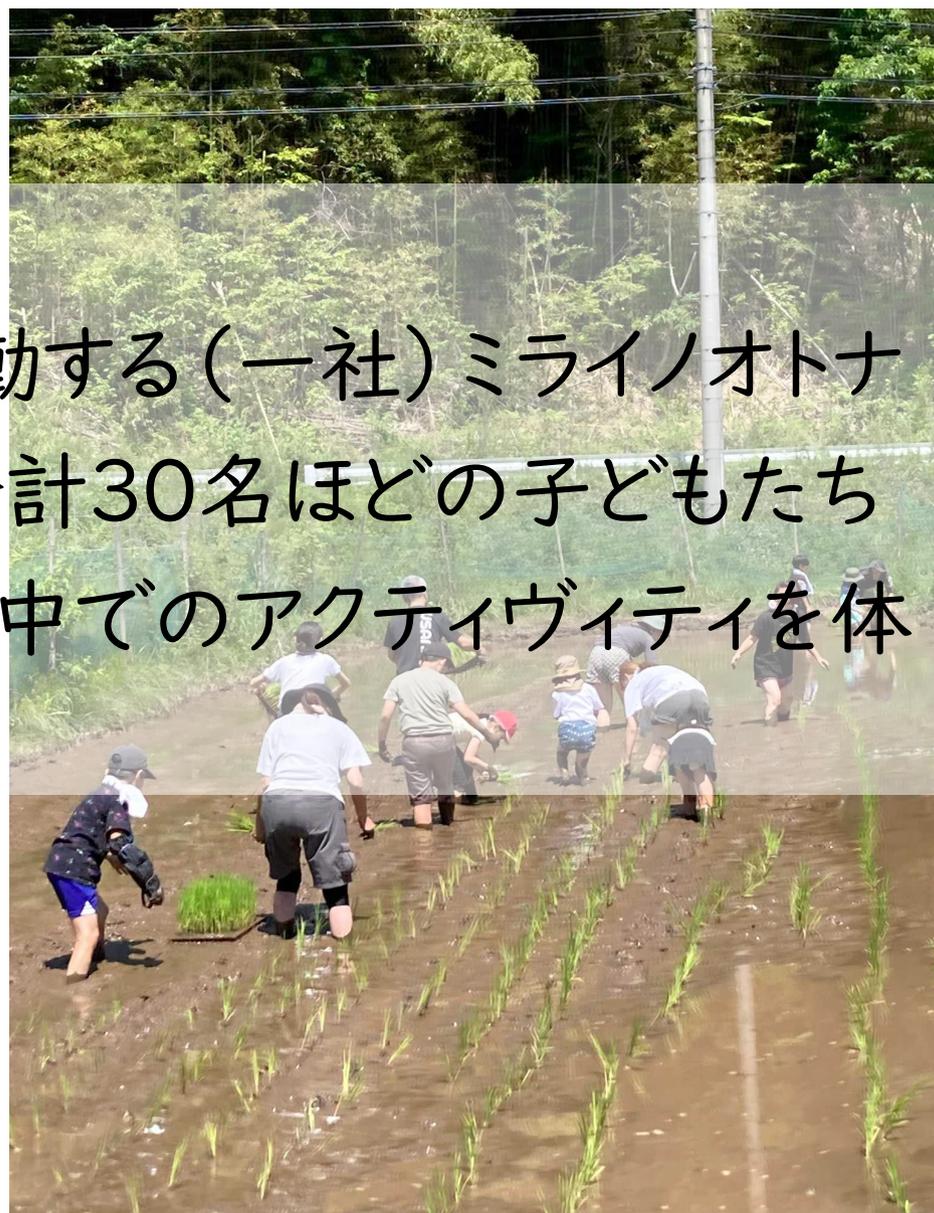
昨年度に引き続き、望月・協西地域の荒廃農地約40アールを耕作し、在来種の米を農薬・化学肥料を使わない方法で栽培。



## 2. 地域活性化への取り組み

### 米づくりと自然体験

千葉県松戸市を拠点に活動する(一社)ミライノオトナと連携し、千葉・東京から合計30名ほどの子どもたちが集まり、米づくりと自然の中でのアクティビティを体験するイベントを開催。



## 2. 地域活性化への取り組み

田植えや稲刈りに加え、溪流での水遊びやカヌー、天体観測など、都会ではなかなかできないことを子どもたちが体験できるようプログラムを組んだ。好評につき、来年度も実施が決まっている。



### 3. 新規就農のための技術習得、販路の確保

- ・新規就農に向け、ズッキーニの有機栽培技術を習得。来年度は約4000株を作付け予定。
- ・就農後の農作物の販路確保のため、各方面で営業活動を行った。

## 活動の成果

1) 荒廃農地約40アールを活用し、約900kgの米を収穫

※収穫予定は1tであったが、鹿の被害により100kg  
ほど減収

収穫した米の活用方法

→ 田植えや収穫等の作業にご協力頂いている地域  
住民へのお礼、営業活動におけるサンプルとして使用

(2)昨年度の課題であった、農業体験における農家側の時間的・体力的負担の軽減という点において、本年度は参加する団体側にイベントのオーガナイズを一任したことで、通常の作業に支障をきたすことなく農業体験の準備等にあたることができた。

(3)ズッキーニ栽培技術の習得により就農後の基盤を強化

(4)営業活動により販路を獲得

米 :個人および店舗向け  
来年度出荷予定数量:1.2t

大豆 :店舗向け  
来年度出荷予定数量:500kg

## 協力隊任期を終えて

無農薬での米、大豆、ズッキーニ等の栽培技術を習得したことにより、今後佐久市に留まり農業をベースにしていく見通しは立ったが、任務である「荒廃農地の発生防止のための仕組みづくり」ということに関しては課題が残る。2年目、3年目と米を40アール作付けしたが、荒廃農地は増える一方であり、担い手が圧倒的に足りていないことを再認識させられた。また害獣対策への行政の動きや補助金の内容にも抜本的な見直しの必要性を感じる。

## 来年度以降の取り組み

・米、大豆、ズッキーニの作付け面積と販路を拡大  
→3年後の農業所得300万を目標とする

・農業体験の継続的实施と  
里山保全のための企業誘致

・自給的暮らしを目指すための  
場所づくりとワークショップの開催

・芸術活動と農業との両立

